

[03_06]九州大学大型計算機センター広報 : 3(6)

<https://doi.org/10.15017/1467971>

出版情報 : 九州大学大型計算機センター広報. 3 (6), pp.1-70, 1970-12-18. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :

行の設定と見出しの印刷について

(1) サブルーチン VLIMの使い方

使用方法はSSLと同じです。

機能 論理的なページの上端と下端を定めるものです。

プログラム名 VLIM

呼び出し法 CALL VLIM(I,J)

パラメータ I …… 1 ≤ I ≤ 66までの整変数、整定数。

ページの上端を定める。

I = -1の時、以前のVLIMの機能を取りけす。

J …… 1 ≤ I ≤ 66, J > Iなる整変数、整定数。

ページの下端を定める。

(2) サブルーチン TITLEの使い方

使用方法はSSLと同じです。

機能 論理的なページの見出しを印刷する。

印刷は4行までです。

プログラム名 TITLE

呼び出し法 CALL TITLE(K, L, M, N, IJ)

パラメータ K …… 4の倍数なる整変数、整定数。

論理的なページの先頭からの改行数。

K行めから見出しの印刷をする。

K = -1の時、以前のTITLEの機能を取りけす。

L, M …… 4の倍数なる整変数、整定数。

見出しの印刷の範囲をL欄めから

M欄めまでとする。

N …… 4の倍数なる整変数、整定数。

見出しの語数(1語は4文字)

あるいは配列の大きさ。

IJ …… ▼文字列 ▼あるいは配列名、配列要素名。

(3) サブルーチン PAGEの使い方

使用方法はSSLと同じです。

機能 論理的なページに頁を印刷する。
印刷は論理的なページの先頭の右端 8 欄に
印刷されます。

プログラム名 PAGE

呼び出し法 CALL PAGE or CALL PAGE(-1)

パラメータ -1 とすると以前のPAGEの機能を取りけす。

(注) 論理的なページというのはプログラムで指定したページの範囲のことをいう。VLIMで指定しなければ1ページは66行となる。

